

PAT-NO:

JP409287743A

DOCUMENT-IDENTIFIER:

JP 09287743 A

TITLE:
UTILIZING MICROWAVE

MICROWAVE OVEN, AND COOKING SYSTEM
OVEN

PUBN-DATE:

November 4, 1997

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

MADA, KATSUMI

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

MADA KATSUMI

COUNTRY

N/A

APPL-NO:

JP08099770

APPL-DATE:

April 22, 1996

INT-CL (IPC): F24C007/02, F24C007/02

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To cook by an accurate cooking method so as to surely present an initially intended taste by a method wherein an information source for which the kinds of cooking modes and cooking conditions are coded as the information, is read by a reader, and a cooking is controlled by inputting the information to a cooking control unit.

SOLUTION: A control unit 3 reads an information source for which the kinds of cooking modes and cooking conditions are coded as the information, by a reader 2, and controls a cooking based on the information,

and such a control unit 3 is provided on a microwave oven. In the meantime, on the external packaging of a food package, cooking conditions including the kinds of cooking modes such as a microwave function, an oven function and a grill function, the cooking periods of time, and the cooking temperatures, etc., are set by bar codes, etc. The bar code 1 which is provided on the packaging body of an article to be cooked, is read by the reader 2, and the cooking can be performed based on the information. By this method, labor to read the cooking method precisely in advance, and set the cooking condition after understanding the cooking method, can be eliminated, and a frozen food, etc., can be instantly cooked in such a manner that the initially intended taste is surely presented.

COPYRIGHT: (C)1997,JPO

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-287743

(43)公開日 平成9年(1997)11月4日

(51)Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
F 2 4 C 7/02	3 4 0		F 2 4 C 7/02	3 4 0 A
	3 0 1			3 0 1 S
				3 0 1 J

審査請求 未請求 請求項の数5 OL (全 4 頁)

(21)出願番号 特願平8-99770

(22)出願日 平成8年(1996)4月22日

(71)出願人 596055187

磨田 勝美

新潟県長岡市下々条町2847

(72)発明者 磨田 勝美

新潟県長岡市下々条町2847

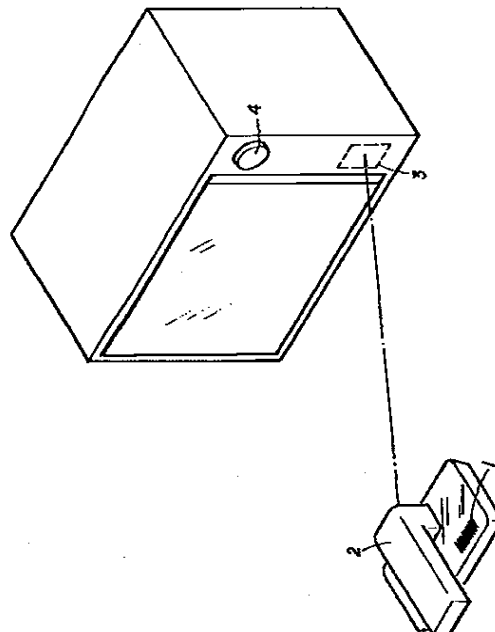
(74)代理人 弁理士 吉井 昭栄 (外2名)

(54)【発明の名称】 電子レンジ並びに電子レンジを利用した調理システム

(57)【要約】

【課題】 冷凍食品や料理の本に記載されている料理を短時間に、正確な調理方法で、当初意図した味を確実に出せる調理を行うことができる電子レンジ並びに電子レンジを利用した調理システムを提供すること。

【解決手段】 レンジ機能、オープン機能、グリル機能等の調理モードの種別と調理時間等を含む調理条件を情報としてコード化した情報源を読み取り可能な読み取り器2を備え、該読み取り器2で読み取った情報を入力しこの情報に基づき調理を制御する調理制御部3を設けた電子レンジ。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 レンジ機能、オープン機能、グリル機能等の調理モードの種別と調理時間等を含む調理条件を情報としてコード化した情報源を読み取り可能な読み取り器を備え、該読み取り器で読み取った情報を入力しこの情報に基づき調理を制御する調理制御部を設けたことを特徴とする電子レンジ。

【請求項2】 レンジ機能、オープン機能、グリル機能等の調理モードの種別と調理時間等を含む調理条件を情報としてコード化した情報源を読み取り可能な読み取り器を備え、該読み取り器で読み取った情報を入力しこの情報に基づき調理を制御する調理制御部を設けた電子レンジにより調理を行うようにしたことを特徴とする電子レンジを利用した調理システム。

【請求項3】 前記情報源をバーコードとしたことを特徴とする請求項1、2いずれか1項に記載の電子レンジ或いは電子レンジを利用した調理システム。

【請求項4】 前記読み取り器をリモコン操作可能な機器としたことを特徴とする請求項1～3いずれか1項に記載の電子レンジ或いは電子レンジを利用した調理システム。

【請求項5】 前記情報源を被調理物の包装体に設けたことを特徴とする請求項1～4いずれか1項に記載の電子レンジ或いは電子レンジを利用した調理システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、電子レンジ並びに電子レンジを利用した調理システムに関するものである。

【0002】

【従来の技術及び発明が解決しようとする課題】従来、冷凍食品等を電子レンジで調理する場合、冷凍食品等の外装に記載されている調理方法を確認して、その調理方法に従って、電子レンジの調理モードを選択し、調理時間等を設定する必要がある。

【0003】また、料理の本に記載されている料理を電子レンジで調理しようとした場合、本に記載されている調理方法に従って電子レンジの調理モードを選択し、調理時間等を設定する必要がある。

【0004】以上のように電子レンジを使用して料理を調理する場合には、冷凍食品等の外装に記載されている調理方法や、料理の本に記載されている調理方法を、調理を始める前によく読んで、記載されている調理方法をよく理解した上で、記載されている調理方法に従って電子レンジの調理モードを選択し、調理時間等を設定する必要がある、調理を始めるまでにある程度時間が必要となり、調理方法についてもいちいち電子レンジの調理条件を設定することから、調理条件の設定間違いをすることもあり、時には調理条件の設定が間違ったために調理した料理の味が悪くなることもある。

【0005】本発明は、以上のような従来の課題を解決するためになされたものであり、冷凍食品や料理の本に記載されている料理を短時間に、正確な調理方法で、当初意図した味を確実に出せる調理を行うことができる電子レンジ並びに電子レンジを利用した調理システムを提供することを目的としている。

【0006】

【課題を解決するための手段】本発明の要旨を説明する。

【0007】レンジ機能、オープン機能、グリル機能等の調理モードの種別と調理時間等を含む調理条件を情報としてコード化した情報源を読み取り可能な読み取り器2を備え、該読み取り器2で読み取った情報を入力しこの情報に基づき調理を制御する調理制御部3を設けたことを特徴とする電子レンジに係るものである。

【0008】また、レンジ機能、オープン機能、グリル機能等の調理モードの種別と調理時間等を含む調理条件を情報としてコード化した情報源を読み取り可能な読み取り器2を備え、該読み取り器2で読み取った情報を入力しこの情報に基づき調理を制御する調理制御部3を設けた電子レンジにより調理を行うようにしたことを特徴とする電子レンジを利用した調理システムに係るものである。

【0009】また、前記情報源をバーコード1としたことを特徴とする請求項1、2いずれか1項に記載の電子レンジ或いは電子レンジを利用した調理システムに係るものである。

【0010】また、前記読み取り器2をリモコン操作可能な機器としたことを特徴とする請求項1～3いずれか1項に記載の電子レンジ或いは電子レンジを利用した調理システムに係るものである。

【0011】また、前記情報源を被調理物の包装体に設けたことを特徴とする請求項1～4いずれか1項に記載の電子レンジ或いは電子レンジを利用した調理システムに係るものである。

【0012】

【発明の実施の形態】最良と考える本発明の実施の形態を、その作用効果を示して簡単に説明する。調理条件を情報としてコード化した情報源を読み取り器2で読み取り、該読み取り器2で読み取った情報に基づき調理を制御する調理制御部3を設けたから、冷凍食品等や料理の本に記載された料理等を即座に調理することができ、いちいち調理条件を選択し、設定する必要もなく、従って、調理条件の設定を間違えるようなこともなく、常に、当初意図した料理の味を確実に出せる調理を行うことができる。

【0013】また、情報源をバーコード1としたから、単に、読み取り器2でバーコード1を読み取るだけで、調理条件を確実に設定することができる。

【0014】更に、読み取り器2をリモコン操作可能な

機器としたから、電子レンジから離れた場所で、電子レンジを移動させることができる。

【0015】また、情報源を被調理物の包装体に設けたから、被調理物の包装体に設けた情報源を読み取り器2で読み取るだけで、この読み取った情報に基づき調理をすることができ、冷凍食品等の被調理物の調理を非常に簡易に行うことができる。

【0016】

【実施例】本発明の一実施例に係る電子レンジ並びに電子レンジを利用した調理システムについて以下説明する。

【0017】本実施例は、レンジ機能、オープン機能、グリル機能等の調理モードの種別と調理時間等を含む調理条件を情報としてコード化した情報源を読み取り可能な読み取り器2を備え、該読み取り器2で読み取った情報を入力し、この情報に基づき調理を制御する調理制御部3を設けた電子レンジ並びに該電子レンジにより調理を行えるようにした電子レンジを利用した調理システムである。

【0018】前記情報源は、冷凍食品等の食品パッケージの外装に、例えば、バーコード1によりレンジ機能、オープン機能、グリル機能等の調理モードの種別と調理時間、調理温度等を含む調理条件を設定しておく。これにより、冷凍食品の被調理物を購入したら、この被調理物の包装体に設けたバーコード1を読み取り器2で読み取るだけで、この読み取った情報に基づき調理をすることができ、冷凍食品等の被調理物を調理して食べようとする時には、単に、被調理物の包装体に設けたバーコード1を読み取り器2で読み取り、その後、被調理物を電子レンジに入れて調理スタートボタン4を押すだけで調理を行うことができ、冷凍食品等の被調理物の調理を非常に簡易に行うことができる。尚、読み取り器2を電子レンジの内部に設け、電子レンジの被調理物の載置場所にて被調理物の包装体に設けたバーコード1を読み取り可能にできるようにすれば、購入した冷凍食品等の被調理物を、単に電子レンジの被調理物の載置場所に置いて調理スタートボタン4を押すだけで、食品メーカー等が意図した料理の味を確実に出せ、冷凍食品等の被調理物の調理をさらに簡易に行うことができる。

【0019】また、料理の本の料理内容記載部分の近辺等にバーコード1によりレンジ機能、オープン機能、グリル機能等の調理モードの種別と調理時間、調理温度等を含む調理条件を設定しておく。これにより、料理の本に記載された料理をその記載内容に沿った調理条件で調理することができる。

【0020】前記読み取り器2はリモコン操作可能な機器としても良く、電子レンジに電氣的に接続した機器としても良い。

【0021】以上のような本実施例の電子レンジ並びに電子レンジを利用した調理システムを使用することによ

り、従来のように、冷凍食品等を電子レンジで調理する場合、冷凍食品等の外装に記載されている調理方法を確認して、その調理方法に従って電子レンジの調理モードを選択し、調理時間等を設定する必要がなくなり、単に、冷凍食品等に調理条件を設定したバーコード1を読み取り器2で読み取るだけで調理条件を設定することができ、この読み取り器2で読み取った情報に基づき調理を制御する調理制御部3の制御によりバーコード1に設定されている調理条件に従って料理を調理して当初意図した味を確実に出せるようにしている。

【0022】

【発明の効果】本発明は前述のように、調理条件を情報としてコード化した情報源を読み取り器で読み取るだけで調理条件を設定できるようにしたから、従来のように、冷凍食品等を電子レンジで調理する場合、冷凍食品等の外装に記載されている調理方法を調理を始める前によく読んで、記載されている調理方法をよく理解した上で、記載されている調理方法に従って電子レンジの調理モードを選択し、調理時間等を設定するような手間は全く不要となり、冷凍食品等を即座に調理することができる。

【0023】また、読み取り器で読み取った情報に基づき調理を制御する調理制御部を設けたから、冷凍食品等を電子レンジで調理する場合、読み取り器で読み取った情報に従って冷凍食品等は調理され、食品メーカー等が意図した調理条件通りの調理が行われ、常に、当初意図した料理の味を確実に出せる調理を行うことができる。

【0024】更に、いちいち調理条件を選択し設定する必要もなくなり、手間がかからないと共に調理条件の設定間違いもなくなる。

【0025】また、情報源をバーコードとしたから、単に、読み取り器でバーコードを読み取るだけで調理条件を確実に設定することができる。

【0026】更に、読み取り器をリモコン操作可能な機器としたから、電子レンジから離れた場所からでも電子レンジを移動させることができる。

【0027】また、情報源を被調理物の包装体に設けたから、被調理物の包装体に設けた情報源を読み取り器で読み取るだけで、この読み取った情報に基づき調理をすることができ、冷凍食品等の被調理物の調理を非常に簡易に行うことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例に係る電子レンジ並びに電子レンジを利用した調理システムの概略構成を示す斜視図である。

【符号の説明】

- 1 バーコード
- 2 読み取り器
- 3 調理制御部

(4)

特開平9-287743

【図1】

